

誰もが安心して暮らせる、福祉のまちづくりを目指す

URASOE

うらそえ社協だより

浦添社協のステキな取り組みや
CSWの様々な活動をご紹介します!

July 2023(令和5年)
No.398
7-8月号

浦添社協ってどんなところ～?



#浦添市社協
#地域づくり
#ふだんのくらしのしあわせ
#地域共生社会

フォローよろしく
お願いします!



社会福祉法人
浦添市社会福祉協議会

発行/社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会
編集/社協だより編集委員会

〒901-2103 浦添市仲間 1-10-7 ☎ 098-877-8226 FAX 098-875-1613
https://urasoeshakyo.or.jp E-mail u-shakyo@urasoeshakyo.or.jp 制作/株式会社スノウイチ

福祉事業への寄附・寄贈

ご寄付ご寄贈ありがとうございました 令和5年3月26日～令和5年5月25日



浦添市役所通り会 様
浦添市安波茶 2-18-10
30,000 円



株式会社 丸忠 様
浦添市牧港 5-19-8
食料品(玄米 30キロ)
30,000 円



宗教法人大願寺 様
浦添市安波茶 1-25-9
食料品(お米、お菓子等)
50,000 円



公益社団法人 北那覇法人会 様
那覇市真嘉比 2-5-3
食料品(お米、インスタント食品)
日用品(紙オムツなど)
50,000 円

お花のサークルサンフラワー 様
浦添市在住
6,586 円

三和金属株式会社 様
浦添市勢理客 4-21-7
40,375 円



**CSW
活動事例集
6月発刊!!**

うらそえのコミュニティソーシャルワーカーが取り組む、福祉の支援や地域づくり。浦添市をとりまく様々な地域課題に対して、色々なアプローチで解決していく事例などを紹介。また各地域の「ふくしでまちづくり」をテーマとした取り組みを掲載しています。

編集後記

2022年4月から民法改正で「年齢18歳をもって成年となる!」となり、高校3年生は、誕生日がきたら順番に法律上は大人になっていく!!!時代へ変わりました。

お酒、たばこ、ギャンブルはこれまで通り20歳からで、婚姻は男女共に18歳とかわり選挙権も18歳です。まだまだ準備不足で18歳をもつ親御さんや学校現場などは「大人ってなんだろう?」と考えている中ではないでしょうか?

18歳で大人になるための準備!それは「善悪の判断を自分でしなければいけないし、責任がついてまわる!」ことが求められています。

早い段階から身近な大人と一緒に考えていくことが大切ですな^_^

相談無料 ふれあい福祉相談センター

- 一般相談 / 9:00～16:00 月～金曜日
- 特例貸付償還相談 / 10:00～16:00 月～金曜日
- 弁護士相談 / 10:00～12:00 第1、第3水曜日
- 司法書士相談 / 10:00～12:00 第2水曜日
- 家計相談 / 10:00～12:00 第2火曜日
- カウンセリング相談 / 13:00～16:00 第2、第4土曜日

**要予約
相談無料**



7・8月
うらそえ社協
スケジュール

ふれあい福祉相談センター

☎ 870-1333

予約受付/月～金(祝日除く) 8:30～17:15

地域とともに100年企業をめざして



損害・生命保険総合代理店
有限会社 あい保険工房
代表取締役 新垣 耕憲
〒901-2126 浦添市宮城2丁目24-2
TEL(098)878-0025 FAX(098)877-2122



保険選びは...**相談がいちばん!**

今からは**自助努力の時代!**
がん保険・医療保険にぜひご加入ください。

営業日: 月～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～15:00
※日・祝日は休み

わたしたち社協は地域の多様な人たちと協働し、ともに豊かに生きるまちづくりを推進しています。 市内各地で行われている地域の取り組みをちょっと紹介!!!

にしはら公民館カフェ倶楽部

地域住民は「やーにんじゅ」
公民館は「地域の我が家」



「地域の人たちが気軽に集まれるような場所ができないかな」という地域住民の想いをきっかけに生まれたにしはら公民館カフェ倶楽部。

公民館を家族や家のような場所として捉え「月に一度は家族のように集まって過ごそう」がコンセプト。

自治会や多様な関係者で企画し開催。毎回、子どもからお年寄りまで参加しており、多世代交流の場となっています。
◎「にしはら公民館カフェ倶楽部」。毎月第3日曜日開催。



◀学生がスタッフとして参加



ビー・フリーラボ



ひきこもり等、若者の社会参加を目的として養蜂活動をするボランティア団体ビーフリー・ラボ。相談者の「はちみつをつくってみたい」、「人と会わない仕事がしてみたい」との声から立ち上がったプロジェクトで、養蜂を通して地域とのつながりを学んでいます。

収穫したはちみつは『十五夜と蜜蜂』というブランドで、地域活性化を目指し配布したり、地域自治会の美化活動等を行っている。

◀収穫したはちみつ『十五夜と蜜蜂』



▲夏になると 大量のゴーヤーがずずなり

福ふくファーム

高齢者に関する地域課題を共有し、解決に向けたさまざまな実践を行っている福ふく会。



高齢者の社会参加を目的とした共同農園『福ふくファーム』では、たくさんのボランティアが野菜と生きがい育てています。今後、2つめの共同農園『森もりファーム』を神森小学校で行い大豆畑を開墾し、目指すは子ども達と豆腐づくり!



フードドライブで風土づくり

少し困った時に、
お互いさまで
助け合える風土づくり



▲宮城公民館でのフードドライブ

仲西中学校区では、住民同士「お互いさま」と思える「フードドライブで風土づくり」を推進しています。

公民館にフードボックスを設置し、地域の皆さんから集まった食料品は民生委員や自治会が見守り訪問に活用しています。

地域によっては頂いて帰ることも可能です。フードドライブを通して安心・優しい・住みよい地域風土醸成を目指しています。

◎城間公民館・宮城公民館で実施中!



◀城間公民館でのフードドライブ